

田尾陽一様

寒い日が続いております お変わりありませんか
ここ4〜5日ずっと朝は寢室の窓が凍りついていたり、一階のトイレの水が出なくなったりと困ってしまったりがありました。

飯舘はここよりもっと寒さが厳しく大変なことが多いと思います。どうかお身体を大切に
にして、薪ストーブで暖かくして元気でいて欲しいと願っています。

送って頂いた著書「飯舘村からの挑戦」―自然との共生をめざして―

共感しつつ、読み終えました。原発事故からの歩みがていねいに記述されていて、再生の会の方々の活動の様子がよくわかりました。そして活動の指針が

「現地で、協働して、継続して、事実を基にして」が一貫してブレてないので、納得しつつ読み込むことができました。

飯舘村の人々の生活の様子が、五年目の報告会で具体的に述べられていました。

村に戻ってきた方々が、いろいろな視点から、前向きに生きておられる事に強さを感じました。外国人の方々の記述も、原発事故は自分たちの問題でもあるとしてとらえて、素直な思いが伝わりました。

しかし、なんといつても（終章）の田尾先生の論文です。説得力がありました。この文章を読んで、再生の会の方々との出会い、あの時、あの言葉、表情がついこの間の時のようによみがえり、なつかしく思い出されました。すばらしい方々とのつながり、出会いに感謝です。

コロナ禍の中で、先の見えない不安、閉塞感で落ち込む時もありますが、負けずにしっかりと生きていかねばと思いました。

ここ霊山町山戸田にも飯舘にはない自然の恵みがたくさんありますので、是非、皆さん
でおいで下さい。

追伸

読み始めは文字が小さく、行間も狭くて難しいと感じましたが、読み進めていくうちに田尾先生の語り口が思い浮かんで、難なく読んでいけました。

そして、再々の会の方々の活動の歩みを知ることができとてもよかったです。私のできることは何でも応援していきたいです。これからもよろしくお願い致します

たくさんの人にこの本を読んでほしいと願っています。

機会あるごとに紹介していきます。

P.32 菅野次男さん写真、P.59 再生の会の方々の写真、笑顔がすてきです。

では又 令和三年一月二日（火）

酒井ヒトシ